

TOKYOink

東京インキ株式会社

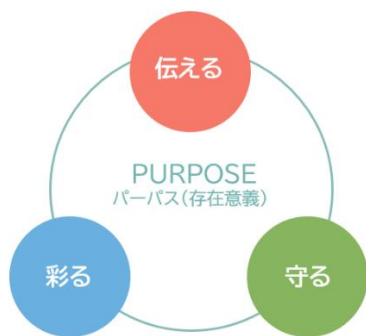
東証スタンダード市場

証券コード：4635

日本証券新聞社 主催

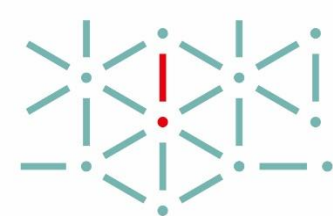
個人投資家様向けIRセミナー

2024年11月25日 東京証券会館



「伝える」
「彩る」
「守る」ことで、
豊かな未来を実現する





本日本お伝えしたいこと

TOKYOink

1. 会社概要
2. 事業・製品紹介
3. 連結決算状況
4. 2030年に向けて
5. 通期連結業績予想
6. 株主還元施策

参考情報



本日はご来場頂き、誠にありがとうございます

会社名	東京インキ株式会社
代表取締役	堀川 聡（ほりかわ さとし）
上場区分（証券コード）	東京証券取引所スタンダード市場（4635）
設立	1923年（大正12年）12月
資本金	32億4,612万円
総資産（※）	524億6,675万円
本社所在地	東京都北区王子1-12-4 TIC王子ビル
従業員数（※）	【連結】684人 / 【単体】555人
事業内容	インキ事業／化成品事業／加工品事業／不動産賃貸事業



堀川 聡

代表取締役社長

会社概要 ～主要事業～

TOKYOink

インキ事業

オフセットインキ

グラビアインキ

インクジェットインク

地球環境に配慮した高機能、高品質な印刷インキ等を提供しています



化成品事業

プラスチック用着色剤

プラスチック用機能性添加剤

樹脂コンパウンド

洗浄剤

パウダーレジン

その他機能性製品

さまざまな生活シーンで活用されているプラスチック部品、製品に機能を付与する各種高機能製品を提供しています



加工品事業

包装資材

工業・農業資材

土木・環境資材

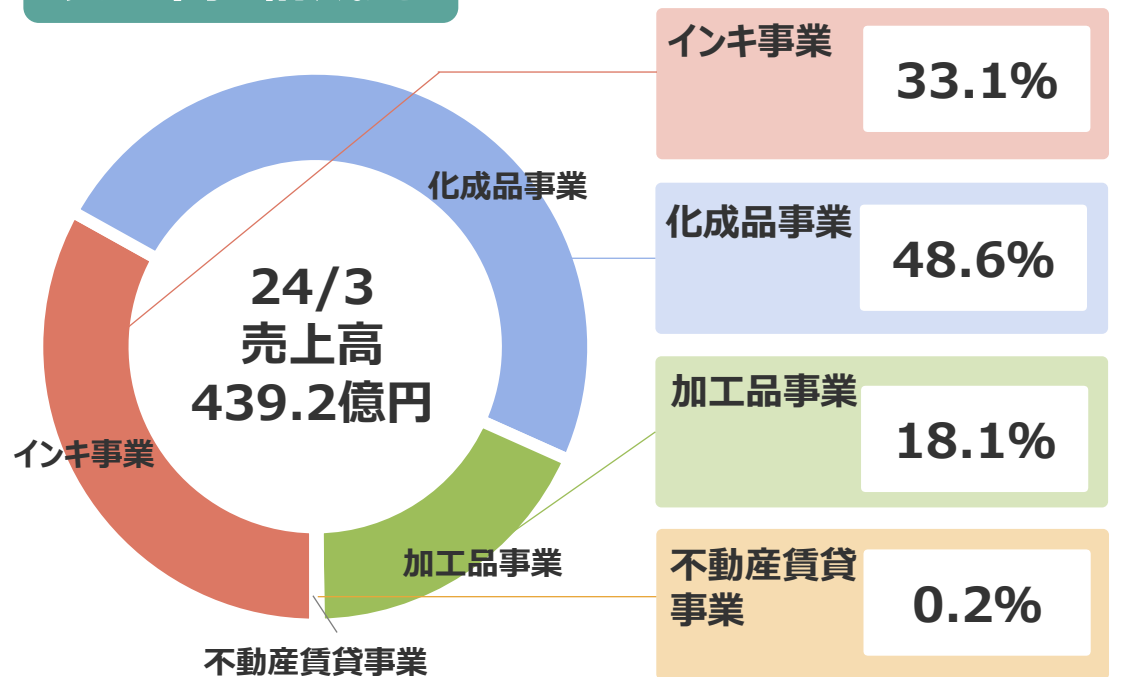
特徴ある加工技術を駆使した産業用途の包装資材、工業・農業資材、土木・環境資材を提供しています



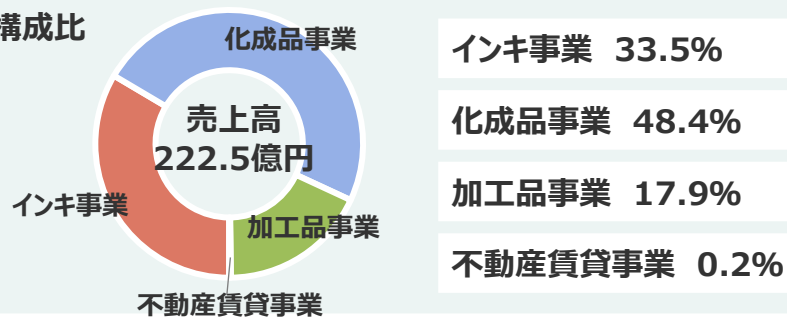
会社概要 ～事業構成比～

TOKYOink

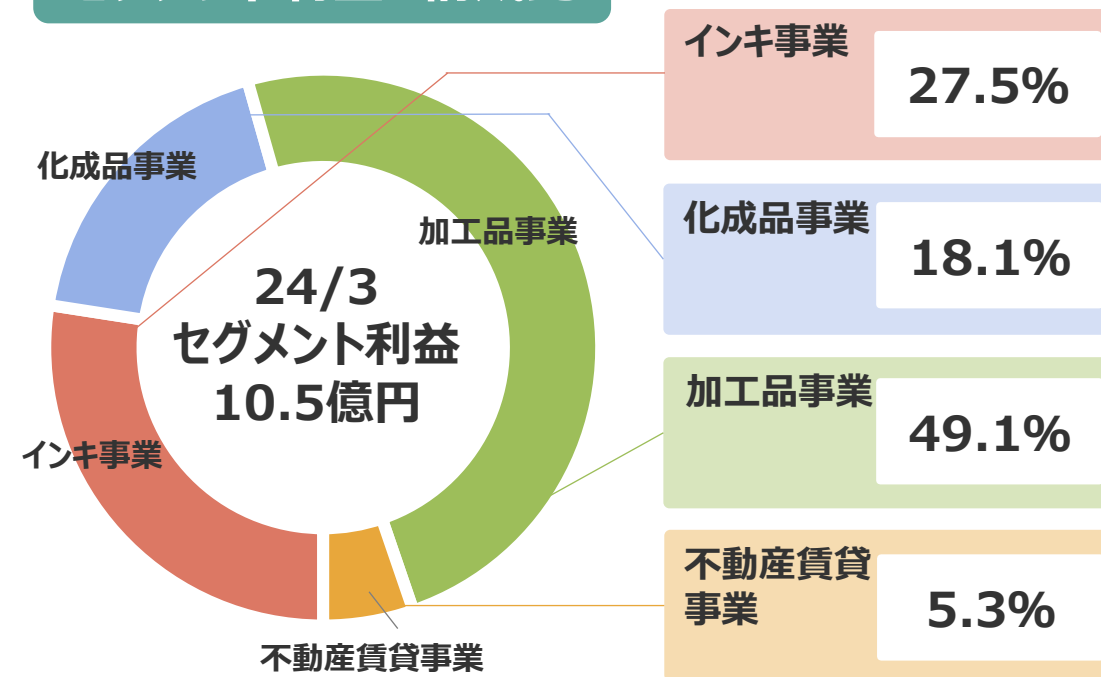
売上高 構成比



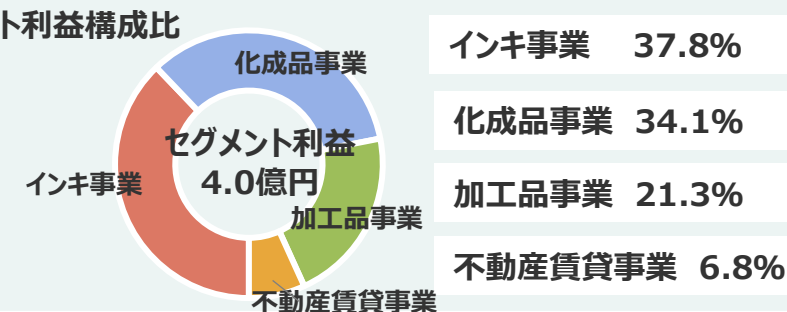
【参考】24/9売上高構成比



セグメント利益 構成比



【参考】24/9セグメント利益構成比



会社概要 ～ネットワーク～

TOKYOink

販売拠点

本社
名古屋支店
大阪支店
福岡支店
札幌営業所
仙台営業所
新潟営業所
広島営業所
高松営業所

工場

羽生工場
吉野原工場
土岐工場
大阪工場
福岡工場

羽生工場



土岐工場



大阪工場



吉野原工場



連結 子会社

国内

林インキ製造株式会社
荒川塗料工業株式会社
英泉ケミカル株式会社
ハヤシ化成工業株式会社
トーイン加工株式会社
東洋整機樹脂加工株式会社

海外

東京インキ株式会社U.S.A.
東京インキ（タイ）株式会社
東京油墨貿易（上海）有限公司

東京インキ(タイ)



福岡工場

福岡支店

大阪支店

名古屋支店

本社

会社概要 ～創立100年の歩み～

TOKYOink

印刷インキの製造からスタートし、技術を応用・拡大して1953年に化成品事業へ、1963年に加工品事業へ進出し、発展を遂げ続けている

東京インキの誕生

1923年に印刷インキ、ワニス、顔料の生産・販売を祖業として創立後、グラビアインキへの進出や田端工場の新設等着実に成長を遂げ、1937年には当時東洋一の印刷インキ工場となった



1923



事業領域の拡大

戦後、印刷インキの製造技術を応用した合成樹脂着色剤の製造に着手
1953年にプラスチック着色剤を開発し、現在の化成品事業へ進出
また、更なる事業多角化を目指し、1963年にプラスチック成型加工事業（現在の加工品事業）に進出

1953



1963

1990～



次なる成長に向けた変革

バブル経済崩壊後、国内需要鈍化の影響で当社の成長も次第に停滞、次なる成長に向けた競争力強化のために主要3事業の再構築や子会社の設立・買収、アジア圏への海外進出により、将来に向けての事業基盤を強固にする

創立100周年と新たな展開

2023年に創立100周年を迎え、これからの持続可能な社会（サステナビリティ）のために何ができるのか？の観点から新たに当社グループのパーパス（存在意義）を設定し、次の100年に向けて持続可能な価値を提供し続ける企業グループとしての新たなチャレンジを開始



これからも、彩る世界をあなたと共に



加工品事業

事業のさらなる多角化を図り、プラスチック成型加工事業へ進出

化成品事業

印刷インキの製造技術を応用しプラスチック着色剤を開発、化成品市場への展開を開始

インキ事業

1923年の創立以来、東京インキを100年以上にわたり支えてきた祖業



Why?

私たちは
何のために
存在しているのか？



Our Purpose

「伝える」「彩る」「守る」ことで、
豊かな未来を実現する



伝える

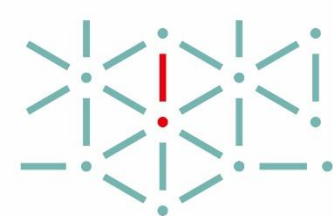
人と人との間をつなぎ、「伝える」ことで、
これからも暮らしに貢献していきます

彩る

身の回りを「彩る」ことで、
これからも我々の生活を豊かにしていきます

守る

地球や我々の生活を「守る」ことで、
これからの社会に貢献していきます



会社概要 ～ビジネスモデル～

TOKYOink

100年に亘って築き上げてきた基盤技術を基にした競争優位性のあるコア技術と、
事業を展開するために必要な要素技術を強みとして展開

幅広い市場や用途に対して、「世の中になくてはならない製品」を提供し続ける

原料
メーカー

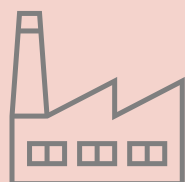


総合色彩化学メーカー

TOKYOink

素材の組み合わせ・独自の加工技術により、
ニーズに最適な材料を作り上げる

- 印刷インキ
- プラスチック着色剤
- プラスチック機能性付与材
- 包装・産業資材
- 土木・環境資材



提供



依頼

最終製品メーカー

クライアント

東京インキの製品を用いて
さまざまな最終製品を製造

- 印刷会社
- 建築資材メーカー
- 包装資材メーカー
- 農業資材メーカー
- 電機メーカー
- ほか
- 生活用品メーカー
- 自動車部品メーカー



消費者



暮らしの中の東京インキ

インキ事業

化成事業

加工事業







自動車・二輪

バンパー、ドアパネル、インパネ



食品包材
生鮮食品

食品容器
ドレッシング、ソース

食品容器
牛乳、ヨーグルト
コンデンスミルク

食品容器
ごま袋
のど飴外包
米袋

一般包材
コイン包装フィルム
雑貨包装資材
観葉植物包装資材

一般包材
プラスチック段ボール

食品包材
各種多層機能フィルム

日用品
ブランドファッションバッグ、ゴミ袋

化粧品
アイライナー、シャンプー容器

化粧品容器
化粧水
化粧クリーム
口紅

衛生用品
マスク、おむつ資材
日用品
洗剤、掃除ワイパー
シャンプー容器

雑貨品
防虫剤包装資材
洗顔用泡立てネット、タワシ材料
詰め替えパウチ、入浴剤容器

防虫

食品容器
弁当、総菜容器
スプーン、レジ袋

食品容器
食品包材

チケット

加工品事業

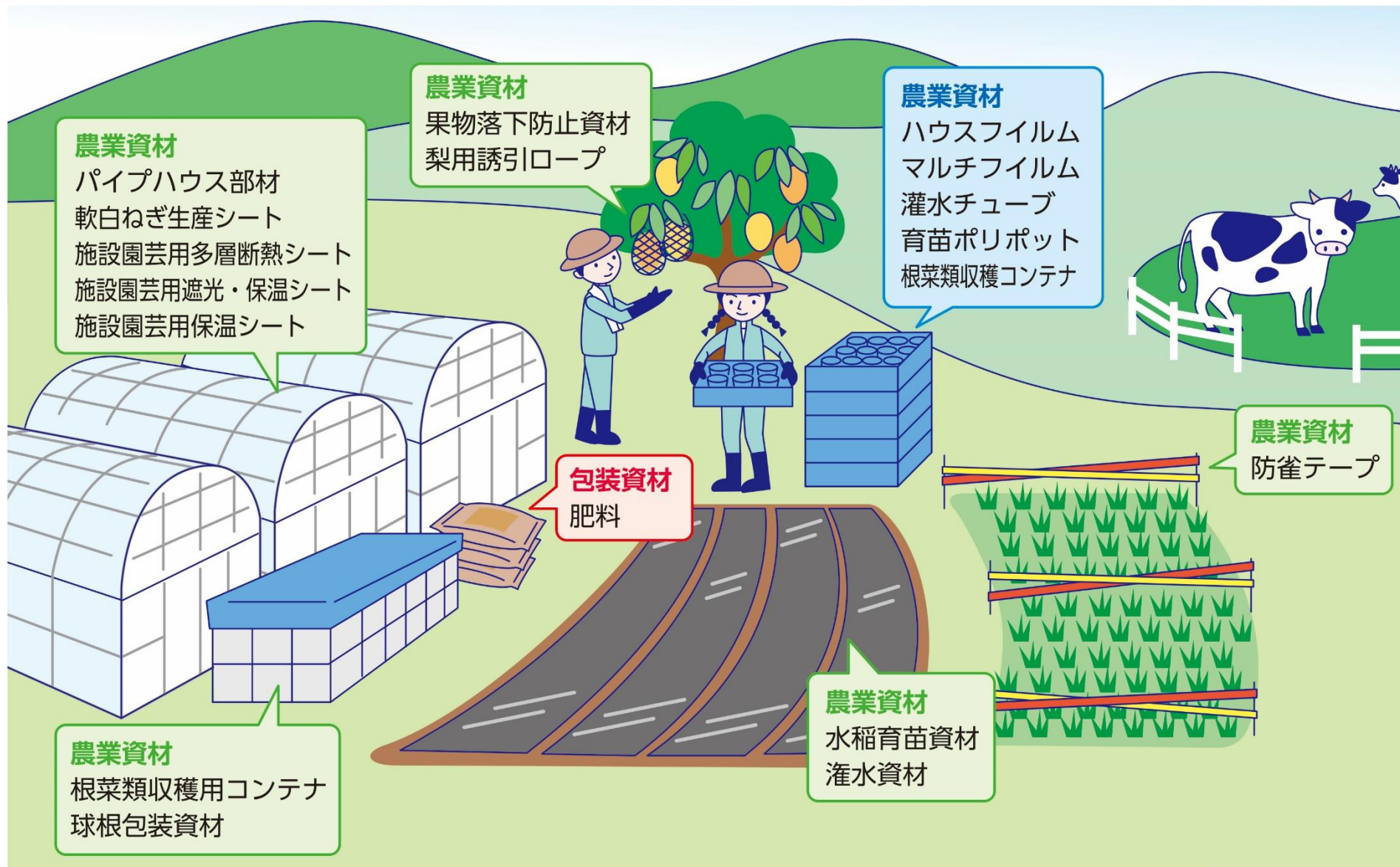
食品包材

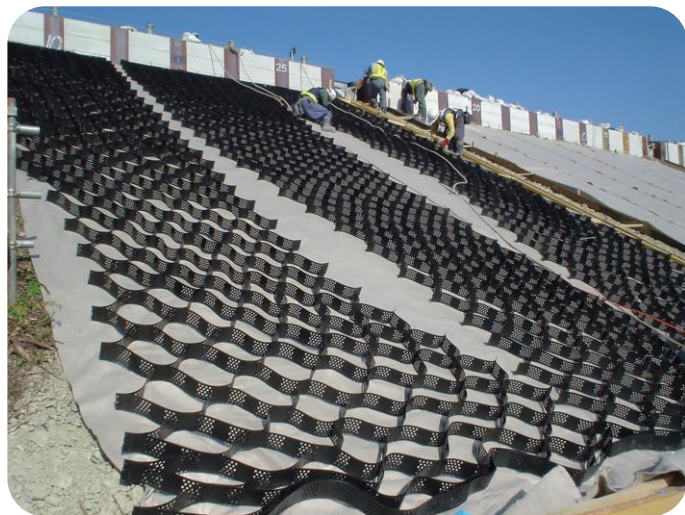
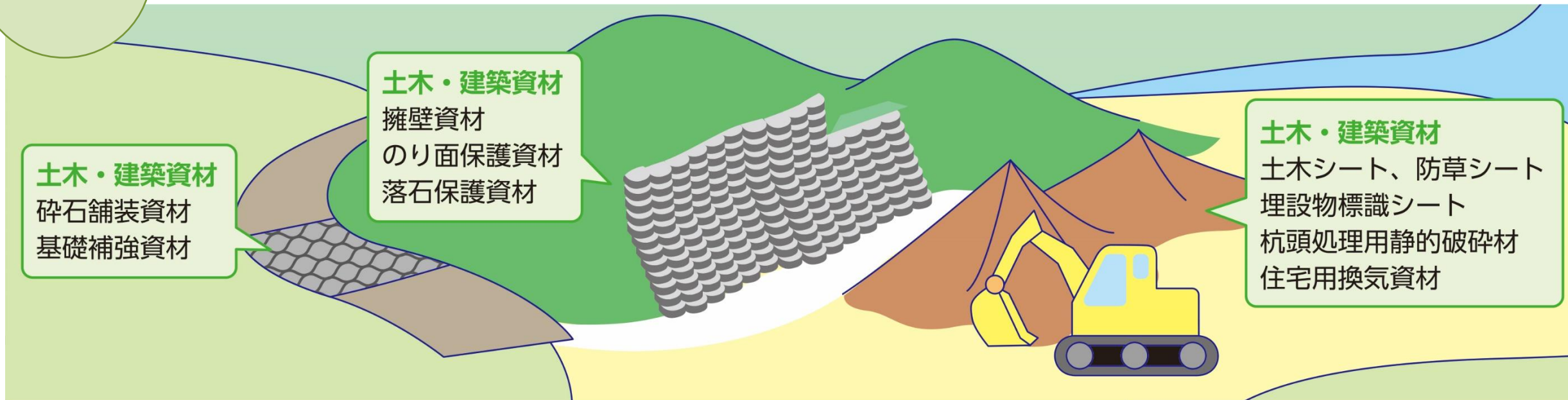
青果物軽包装資材
青果物フィルム
菓子個包装フィルム
手巻寿司フィルム



事業・製品紹介 ～暮らしの中の東京インキ～

TOKYOink





連結決算状況 ~24年3月期~

TOKYOink

24年3月期

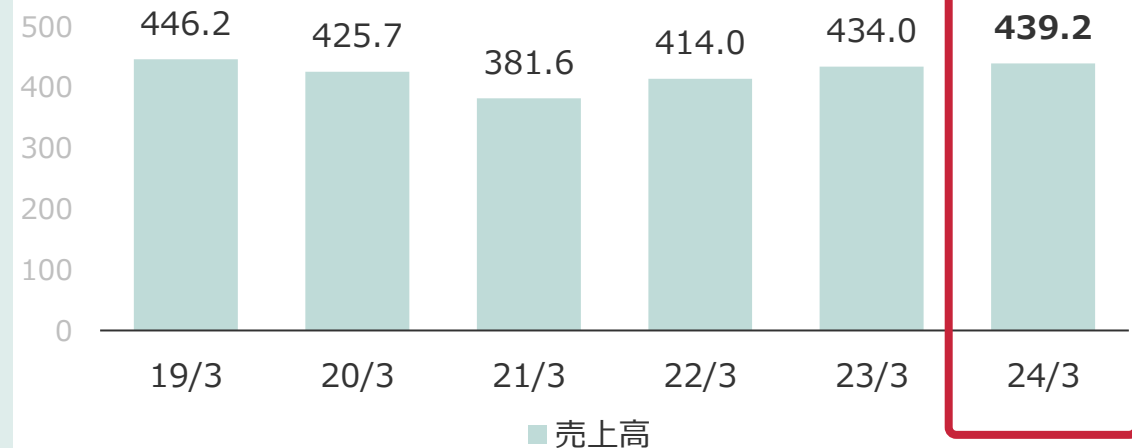
- ✓ 前年比で増収、減益
営業利益ベースでは前年比 増益
- ✓ 売上高当期純利益率は2.0%に留まる

(単位：億円)

	23年3月期 23/3	24年3月期 24/3	増減額	増減率 (%)
売上高	434.0	439.2	+5.1	+1.2
営業利益 (損失▲)	▲0.2	7.6	+7.9	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	16.4	8.8	▲7.6	▲46.4

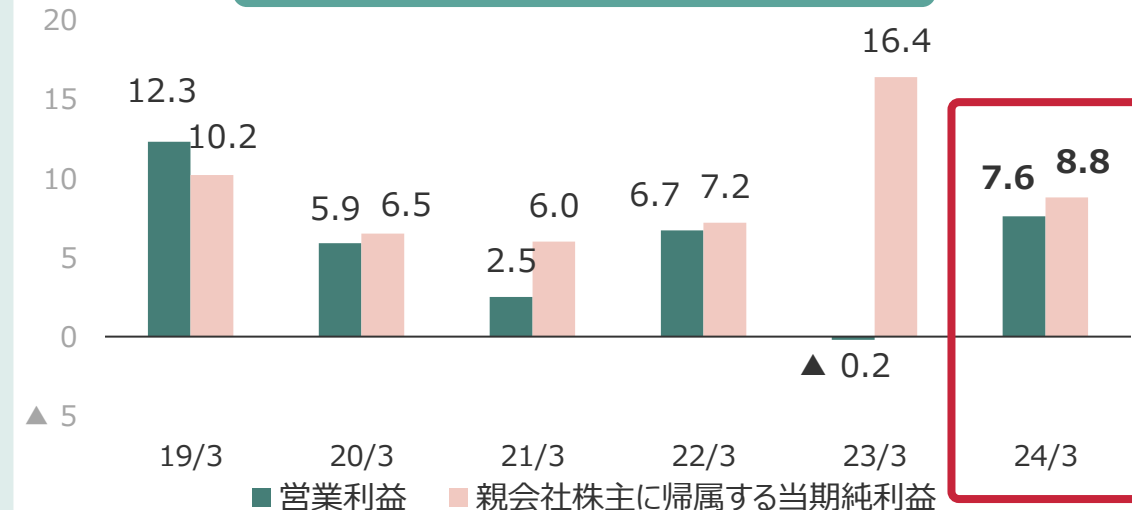
売上高 推移

(単位：億円)



営業利益・当期純利益 推移

(単位：億円)



25年3月期2Q(中間期)

- ✓ 前年比 : 増収、減益
営業利益ベースでは 増益
- ✓ 業績予想比 : 当初業績予想に対して営業利益が未達成
→業績予想下方修正(24年10月25日公表)

前年比

(単位：億円)

業績予想比

(単位：億円)

	前年実績 24年3月期2Q 23/9 【A】	当年実績 25年3月期2Q 24/9 【B】	増減額 【B】-【A】	増減率 (%)	<当初> 業績予想(※1) 【C】	<修正> 業績予想(※2) 【D】	当年実績 25年3月期2Q 24/9 【B】	当初業績予想 と 実績の増減額 【B】-【C】	当初業績予想 と 実績の増減率 (%)
売上高	212.6	222.5	+9.9	+4.7	220.0	222.0	222.5	+2.5	+1.2
営業利益	2.5	2.6	+0.1	+5.5	3.5	2.6	2.6	▲0.8	▲23.5
親会社株主に帰属する 中間純利益	3.8	3.0	▲0.7	▲20.4	2.0	3.0	3.0	+1.0	+52.4

営業利益 下方修正

(※1)24年5月14日公表値
(※2)24年10月25日公表値

2030年に向けて ～現状の課題～

●現状の課題

(※)製造業平均値及び、当事業の主要製品が属する同業種平均値は2022年経済産業省企業活動基本調査確報データの過去5年実績を用いて算出

売上高当期純利益率

過去6年平均：2.2%（⇒ 製造業平均値 5.2%、同業種平均値 4.6%～7.0% ※）

株主資本コスト

4～5%程度の認識も、株式流動性が低いことが上昇圧力

ROE

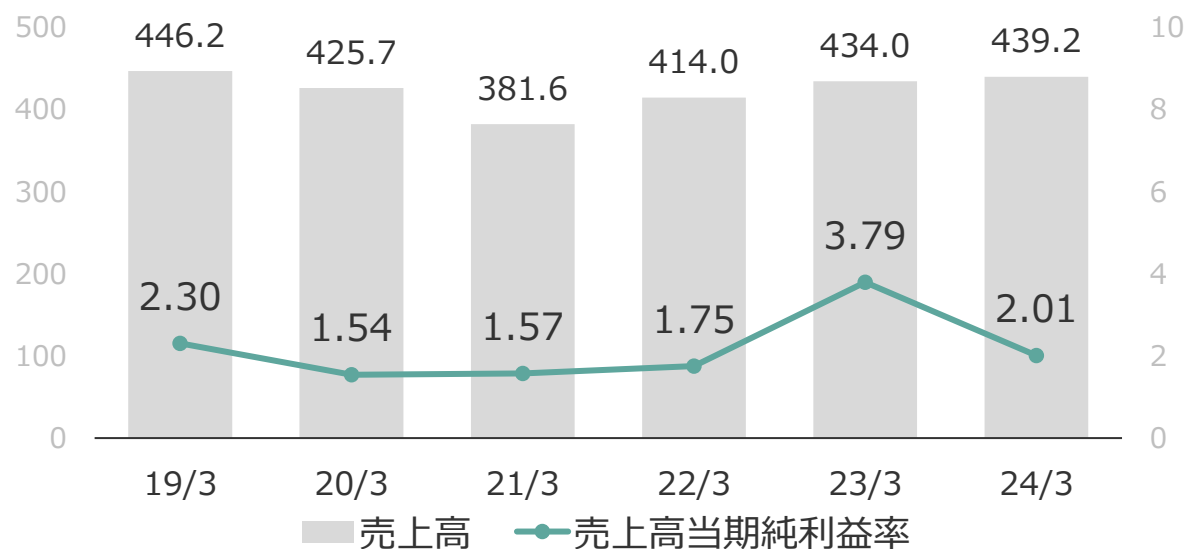
低位で推移、株主資本コストを上回らないと投資判断は厳しい

PBR

0.2～0.3倍台と1倍割れの状況で推移

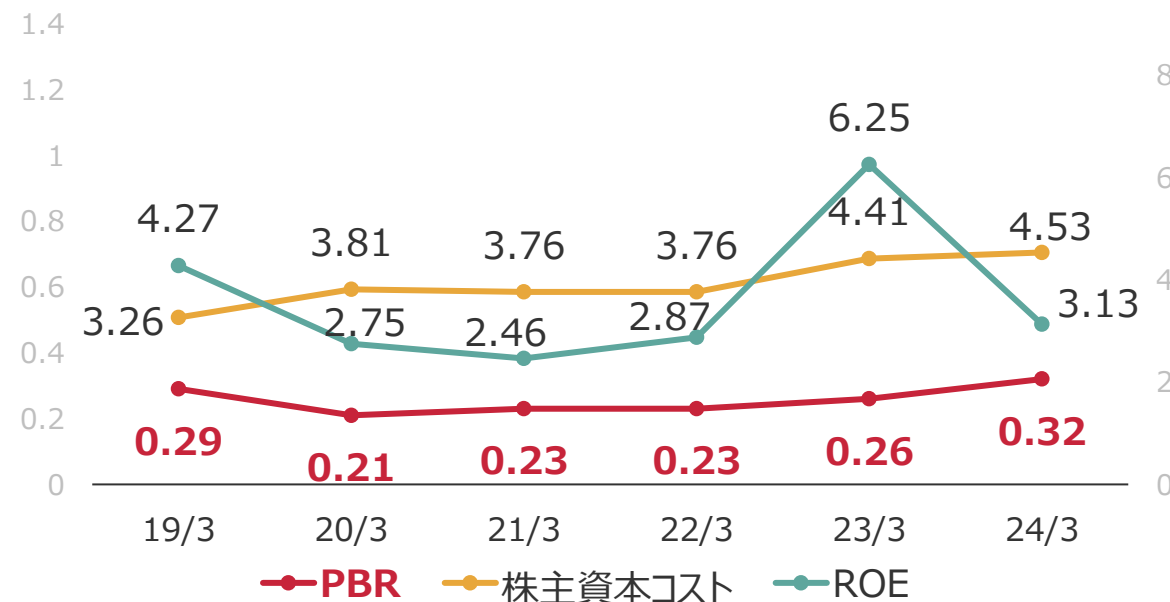
売上高 ・ 売上高当期純利益率 推移

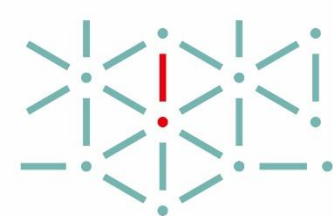
(単位：億円、%)



PBR ・ 株主資本コスト ・ ROE 推移

(単位：倍、%)



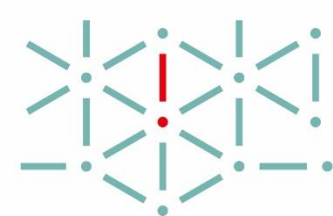


低ROE・低PBRの原因分析

- ・インキ事業の市場縮小、化成品事業の成長鈍化等、収益改善策の具体化が遅れている
- ・現中期経営計画の目標値（ROE：5.0%以上）は市場が求める成長期待（8.0%以上）よりも低い
- ・売上高当期純利益率は、製造業平均値・同業種平均値を下回り、利益率の低さが顕著
- ・主要3事業の収益力改善に向けた取組、強みを活かした事業戦略、蓋然性のある成長戦略の説明が不十分
- ・従前は株主還元策が安定偏重志向であり、投資家への非財務情報を含めた情報発信・対話が不十分

エクイティストーリー

- ROE改善を重視した経営施策の実行 ⇒ 当社の強みを活かした事業ポートフォリオ変革を断行
- 投資判断に有効な蓋然性のある成長戦略（中長期経営計画）と進捗状況の説明実施
- 株主価値向上に対する強い意思と株主還元策の一層の拡充（配当方針・自己株取得等）



2030年に向けて ～長期ビジョン～

TOKYOink

TOKYOink Vision 2030 『持続可能な価値を提供し続ける企業グループへ』

経営目標（2031年3月期）

売上高 **500** 億円 営業利益 **28** 億円 ROE **8.0** %以上

- サステナブル対応製品売上高比率50%
- GHG排出量50%削減（2014年3月期比 Scope1、2計）
- パーパスとバリューの浸透・エンゲージメントスコア向上

重要課題

- 製品・サービスを通じた持続可能な社会に対する価値の提供
- 環境・社会と共存共栄する企業経営の推進
- 高効率で安定した企業基盤づくり
- 新たな価値を創造できる人材の創出とマインドの醸成

中期経営計画

- TOKYOink 2024 ～ 飛躍への準備
- TOKYOink 2027 ～ 変革の実践 ～
- TOKYOink 2030 ～ 新たな価値の創出 ～

実行中
策定中
予定

成長戦略 ～ 事業ポートフォリオ変革 ～

- 既存事業の変革
- 周辺領域分野をターゲットとしたM&A等の実行による第4の事業確立
- R&D強化による既存・周辺領域に寄与する材料開発

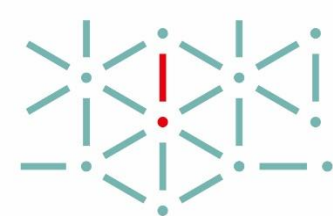
『事業ポートフォリオ戦略推進室』新設

資本政策・財務戦略

- 株主資本の活用を最大化（バランスシート改革）
- 強固な財務基盤の確保
- 株主還元の充実

非財務施策

- コーポレート・ガバナンス体制の強化
- サステナビリティ経営の推進
- IR活動の強化を通じた企業価値向上
- 事業リスク低減



2030年に向けて ～企業価値向上に向けた取り組み～

TOKYOink

各種戦略実行により企業価値向上を目指す

成長戦略	・事業ポートフォリオ変革（既存・新規）
資本政策・財務戦略	・株主資本の活用を最大化 ・強固な財務基盤の確保 ・株主還元の充実
非財務施策	・コーポレート・ガバナンス体制の強化 ・サステナビリティ経営の推進 ・IR活動の強化を通じた企業価値向上 ・事業リスク低減

2030年に向けて ～成長戦略～

TOKYOink

事業ポートフォリオ変革（既存・新規）

達成に向けたマイルストーン

31年3月期までに**ROE8.0%以上、当期純利益20億円、
営業利益28億円、自己資本250億円**を目標とする

(単位：億円、%)

項目	24年3月期 実績	25年3月期 TOKYOink 2024 【飛躍への準備】	28年3月期 TOKYOink 2027 【変革の実践】	31年3月期 TOKYOink 2030 【新たな価値の創出】
売上高	439.2	467.0	480.0	500.0
営業利益	7.6	12.0	20.0	28.0
当期純利益	8.8	11.5	15.0	20.0
ROE	3.1	4.1	5.5	8.0
総資産	524.6	510.0	500.0	500.0
自己資本	292.0	280.0	270.0	250.0
自己資本比率	55.7	55.0	54.0	50.0

31年3月期 事業別目標

インキ事業	売上高	140億円
	営業利益	6億円

化成品事業	売上高	220億円
	営業利益	7億円

加工品事業	売上高	80億円
	営業利益	9億円

新規事業 他	売上高	60億円
	営業利益	6億円

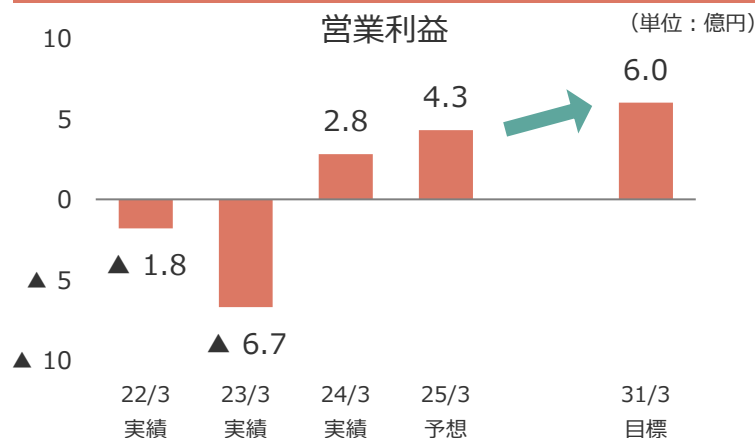
2030年に向けて ～成長戦略～

TOKYOink

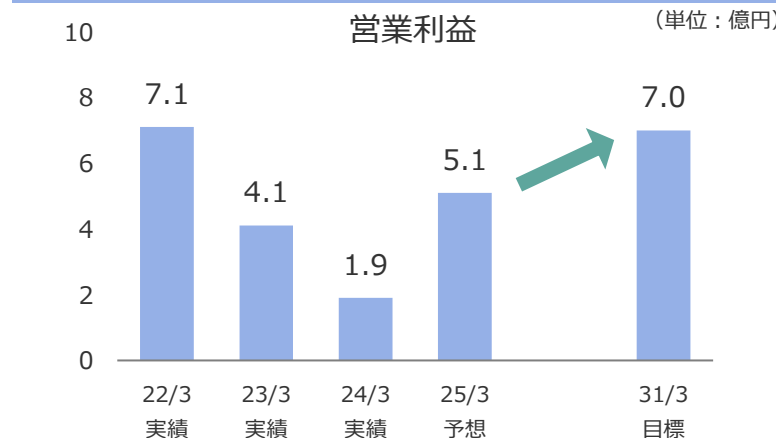
既存領域

31年3月期セグメント別目標達成に向けた重点ポイント

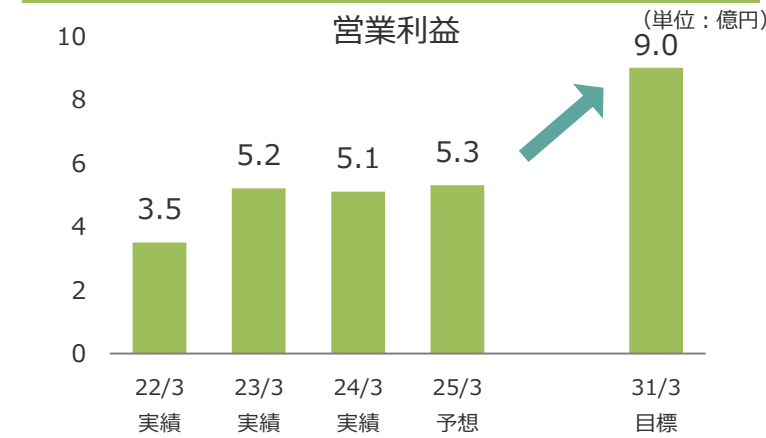
31年3月期目標



現状	23年3月期の大幅赤字から脱却
成長戦略	・グラビアインキ拡販 ・オフセットインキシェア向上 ・インクジェットインキ拡販



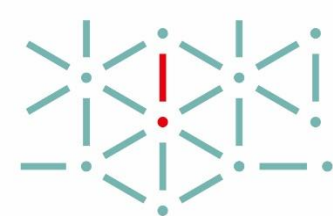
現状	脱プラ、一部製品の恒常的低収益化による利益減
成長戦略	・機能性付与マスターバッチ拡販 ・海外収益の拡大 (ASEAN) ・低収益製品見直し



現状	土木資材を中心とした成長事業積極投資により利益は横ばい
成長戦略	・防災・減災用途製品拡販 ・特徴的な成型加工技術の活用 ・収益拡大に向けた投資継続

共通戦略

■ サステナブル対応製品開発
■ 適正な価格転嫁
■ 高効率化
■ 製品絞り込み (収益が見込めない製品見直し)



2030年に向けて ～成長戦略～

TOKYOink

新規領域

当社の強み

材料メーカーであると同時に成型加工事業を有していること

素材の組み合わせ・独自の加工技術により、ニーズに最適な材料を作り上げること



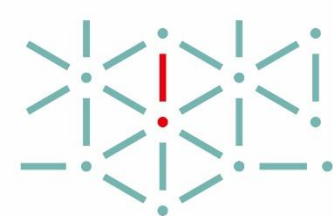
当社の事業領域内とその周辺領域で市場が求める新たなニーズを満たす材料を創出できる



- ・R&D強化やM&Aにより第4の事業を確立（事業ポートフォリオ戦略推進室主管）
- ・積極的な資金調達・成長投資の実施（資本政策・財務戦略との連動）

31年3月期目標

新規事業	他	売上高	60億円
		営業利益	6億円



2030年に向けて ～企業価値向上に向けた取り組み～

TOKYOink

各種戦略実行により企業価値向上を目指す

成長戦略

- ・事業ポートフォリオ変革（既存・新規）

資本政策・財務戦略

- ・株主資本の活用を最大化
- ・強固な財務基盤の確保
- ・株主還元の充実

非財務施策

- ・コーポレート・ガバナンス体制の強化
- ・サステナビリティ経営の推進
- ・IR活動の強化を通じた企業価値向上
- ・事業リスク低減

株主還元の充実

経営資源の最適な配分を実践：

創出したキャッシュを「成長・サステナ投資」・「R&D」等への成長戦略や株主還元資金配分する計画



成長・サステナ投資
R&D
戦略投資(M&A等)
⇒**総額240億円**

25年3月期 ～ 28年3月期

成長・サステナ投資、 R&D、戦略投資(M&A等)	総額140億円
------------------------------	---------

配当	25億円
----	------

自社株買い	5億円
-------	-----

29年3月期 ～ 31年3月期

成長・サステナ投資、 R&D、戦略投資(M&A等)	総額100億円
------------------------------	---------

配当	25億円
----	------

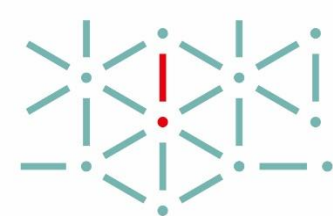
自社株買い	15億円
-------	------



株主還元

⇒**配当 総額50億円**
⇒**自社株買い 総額20億円**

- ・ 新たな配当政策として、配当性向40%以上またはDOE1.0%以上とする新たな配当方針を策定
- ・ 配当金50億円、自社株買い20億円や、株式の流動性を向上させるため株式分割を検討



2030年に向けて

～企業価値向上に向けた取り組み～

TOKYOink

各種戦略実行により企業価値向上を目指す

成長戦略

- ・事業ポートフォリオ変革（既存・新規）

資本政策・財務戦略

- ・株主資本の活用を最大化
- ・強固な財務基盤の確保
- ・株主還元の充実

非財務施策

- ・コーポレート・ガバナンス体制の強化
- ・**サステナビリティ経営の推進**
- ・IR活動の強化を通じた企業価値向上
- ・事業リスク低減

サステナビリティ経営の推進 ～サステナブル対応製品例～

持続可能な価値提供に向け環境負荷低減や社会貢献に寄与する『サステナブル対応製品』の比率向上を目指す

31年3月期 サステナブル対応製品売上高比率 50%へ （24年3月期実績：23%）

環境負荷低減製品

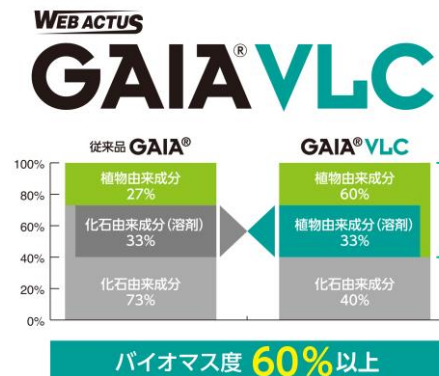
■ ライスインキ（PULPTECC／LAMITECC）

原材料にバイオマス材料である米ぬか油（非可食部分）を使用したグラビア印刷用インキ



■ 高バイオマスオフセット輪転インキ（ウェブアクタス ガイア® VLC）

温室効果ガス削減に寄与するバイオマス材料成分を高めたオフセット輪転用印刷インキ



社会貢献製品

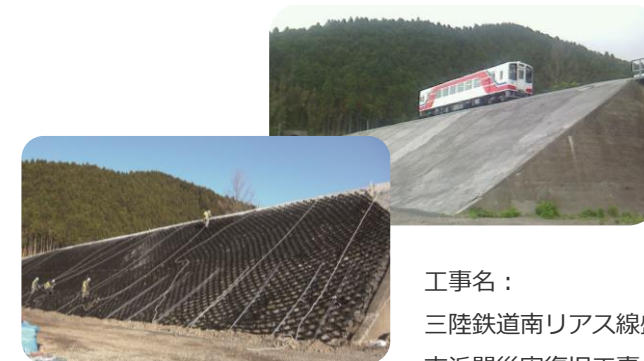
■ 機能性付与マスターバッチ（鮮度保持/紫外線吸収）

食品包装フィルム製造時に機能性付与マスターバッチ添加により、水分・ガス吸着機能や紫外線吸収機能を付与することで食品の賞味期限延長に貢献

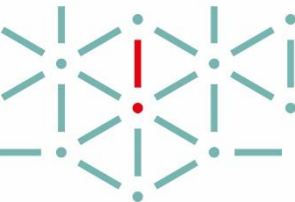


■ ジオセルのり面保護工法（グランドセル®／テラセル®）

防災・減災に寄与するハニカム状シートに中詰剤を充填することで強度を保ちつつ、コンクリート工法よりも施工性に優れる、のり面保護工法



工事名：
三陸鉄道南リアス線盛・
吉浜間災害復旧工事

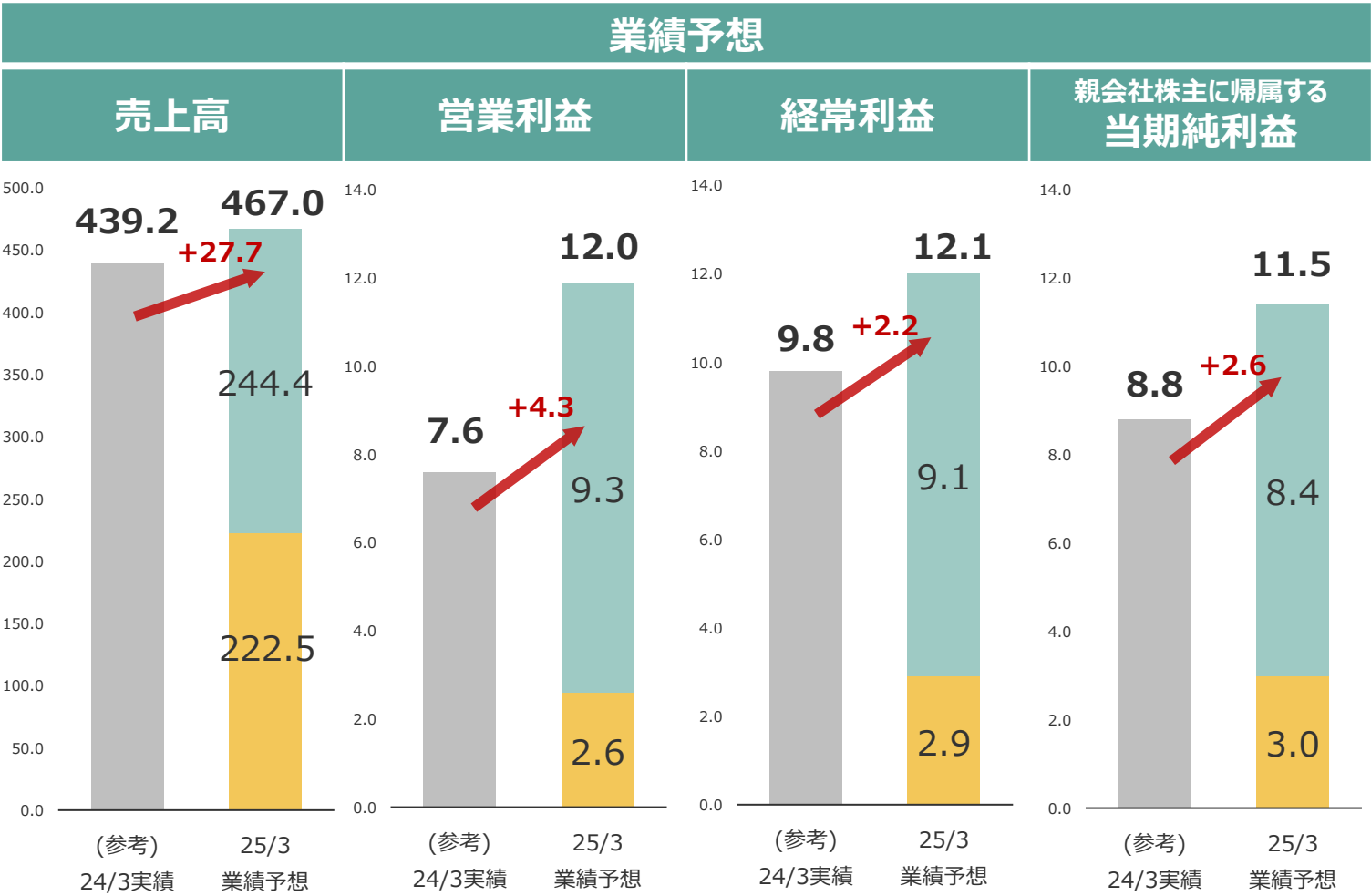


通期連結業績予想 ～25年3月期～

(単位：億円)

24年3月期に比べ、増収増益を予想
24年10月25日に通期業績予想を上方修正(売上高、経常利益、当期純利益)

	＜当初＞ 通期 連結業績予想 24年5月14日 公表値	＜修正＞ 通期 連結業績予想 24年10月25日 公表値	増減額
売上高	460.0	467.0	+7.0
営業利益	12.0	12.0	-
経常利益	10.5	12.1	+1.6
親会社株主に 帰属する 当期純利益	7.5	11.5	+4.0



上記業績予想は24年10月25日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績等は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります

25年3月期 年間配当は80円増配を予定（記念配当を除く）

配当方針

- ・資本政策の基本：「資本効率の向上」、「強固な財務基盤の確保」、「株主還元」の3つのバランスを取る
- ・配当の基本方針：安定的かつ継続的な配当実施
- ・現中期経営計画「TOKYOink 2024」における配当方針：配当性向30%以上目標

更なる株主価値向上への取組み

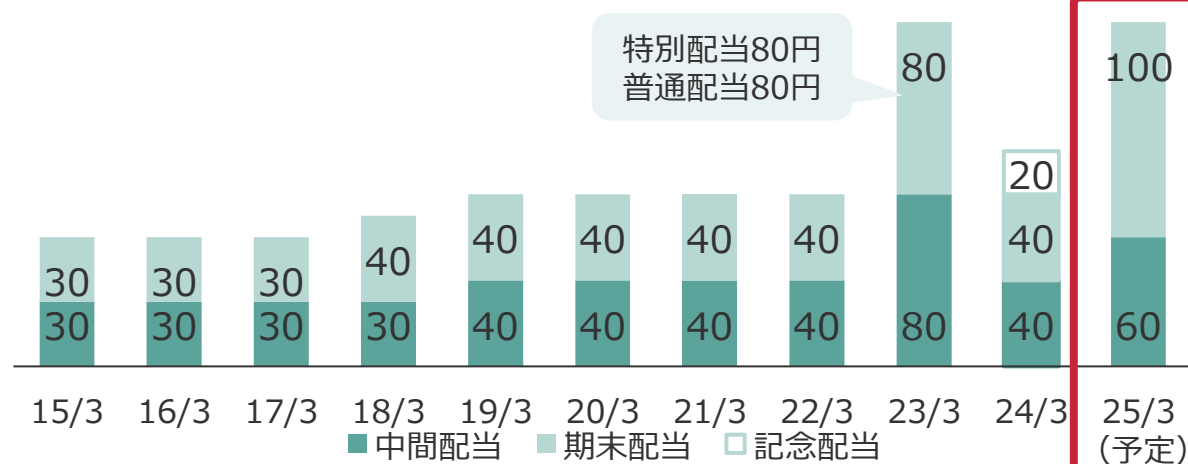
「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」において新たな配当方針策定：配当性向40%以上またはDOE1.0%以上

25年3月期の期末配当予想は、上記方針と通期業績予想修正（24年10月25日公表）を踏まえ、1株当たり100円を予定

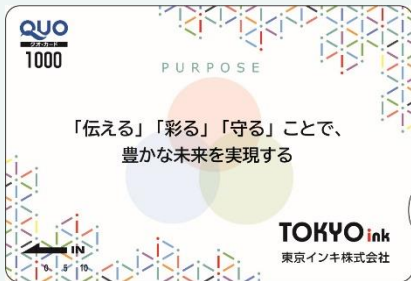
	25年3月期（予定）	24年3月期比
中間配当	普通配当 1株当たり 60円	+20円
期末配当	普通配当 1株当たり 100円	+60円
年間配当 (記念配当除く)	160円	+80円

配当金 推移

(単位：円)



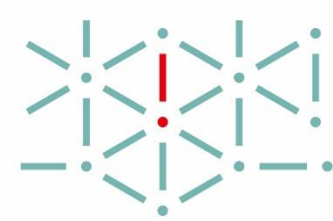
※17年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施
17年3月期以前の配当金は遡及して修正

株主優待制度	
基準日	毎年3月31日
保有株式数	100株以上
株主優待制度の内容	オリジナルクオカード1,000円分 



長期保有株主様向け
300株以上かつ3年以上（※）保有の場合、 さらに オリジナルクオカード1,000円分を贈呈 （※）3年前から当年までのすべての基準日において、 株主番号が継続して同一の株主様

参考	株式売買単位	100株
	最低売買金額	313,000円（24年11月18日終値 3,130円 × 100株）
	配当利回り	5.11%（年間配当(予定) 160円 ÷ 24年11月18日終値 3,130円 × 100）



詳細リンク

TOKYOink

東京インキホームページ

<https://www.tokyoink.co.jp/>



長期ビジョン「TOKYOink Vision 2030」説明会動画

<https://www.net-presentations.com/4635/20231211/bepq1a/>



持続的な企業価値向上に向けた取り組み

～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応～説明会動画

<https://www.net-presentations.com/4635/20240530/2/gvgrn4f7c/>



東京インキ(株)公式X（旧Twitter）アカウント：東京インキ株式会社 @tokyoink_1923

参考情報

※参考情報の数値は百万円単位

1. 25年3月期第2四半期(中間期) 連結業績ハイライト
2. 25年3月期第2四半期(中間期) 第2四半期連結業績予想と実績との差異(24年5月14日公表値比)
3. 25年3月期第2四半期(中間期) セグメント別業績サマリー
4. 25年3月期第2四半期(中間期) その他連結決算情報



1. 25年3月期第2四半期(中間期) 連結業績ハイライト

TOKYOink

(単位：百万円)

売上高

22,257百万円

前年同中間期比

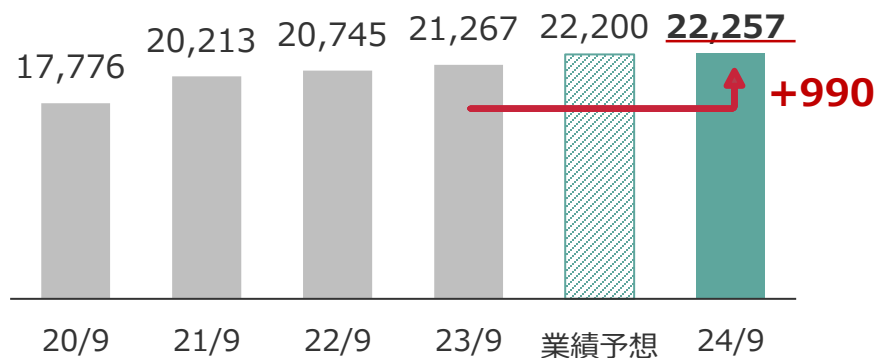
+990百万円 (+4.7 %)

2Q(中間期)業績予想比

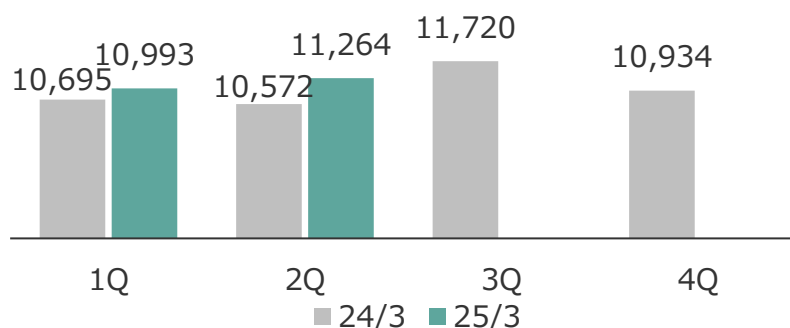
+57百万円 (+0.3 %)

(※)

●売上高 5年推移

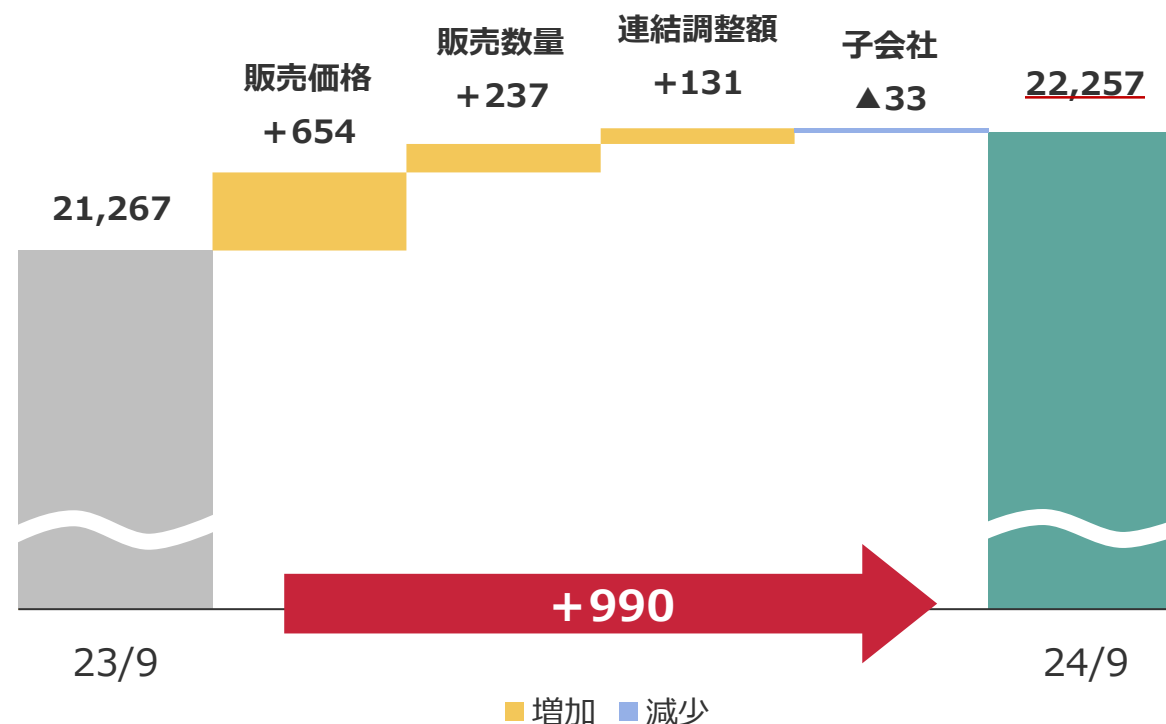


●前年比 四半期推移



前年同中間期比 増減要因

- ✓ 原材料価格およびエネルギーコストの上昇に対する製品価格改定効果による増収、特に化成品事業が大きく寄与
- ✓ インキ事業における重要顧客への販売活動強化による販売数量増



1. 25年3月期第2四半期(中間期) 連結業績ハイライト

TOKYOink

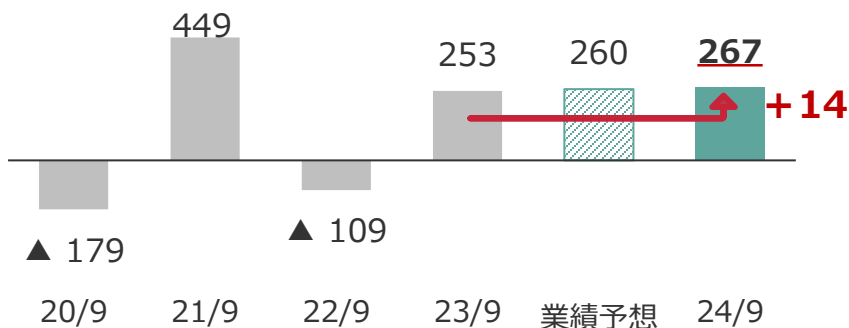
(単位：百万円)

営業利益

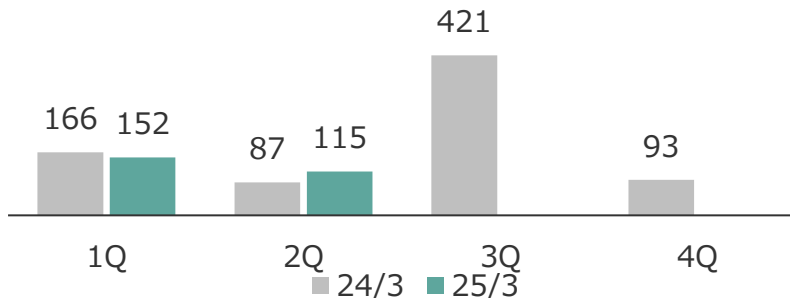
前年同中間期比
2Q(中間期)業績予想比
(※)

267百万円
+14百万円(+5.5%)
+7百万円(+3.0%)

●営業利益 5年推移

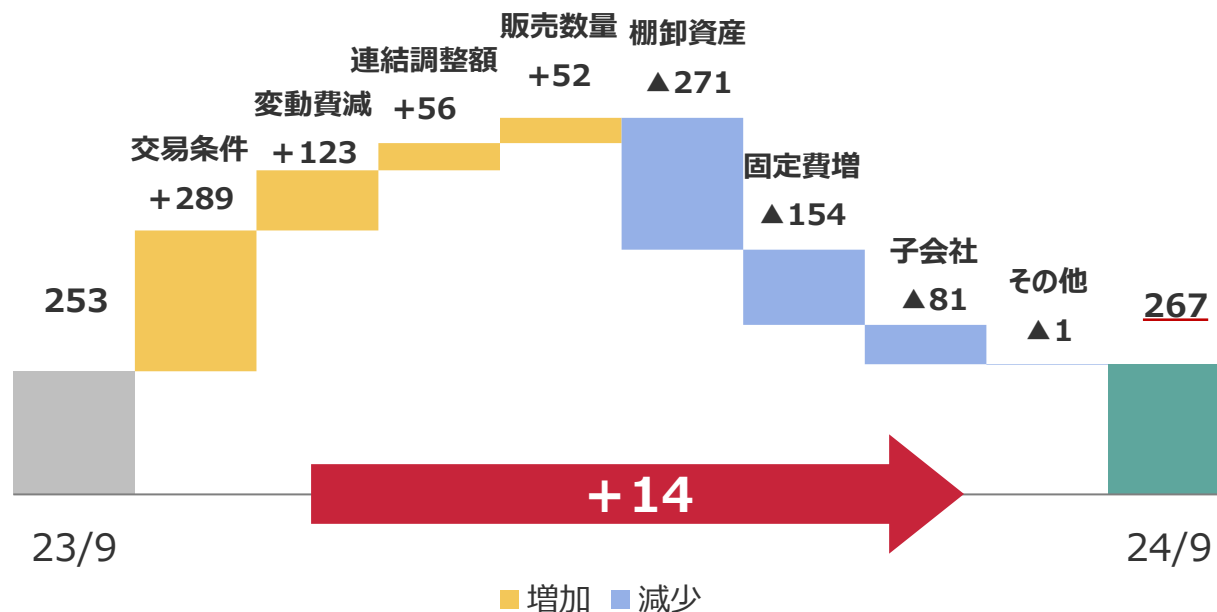


●前年比 四半期推移



前年同中間期比 増減要因

- ✓ 原材料価格およびエネルギーコストの上昇に対する製品価格改定効果により、特にインキ事業、化成品事業における交易条件が改善
- ✓ 加工品事業のネトロン工材・包材における生産体制の再構築に伴い、外注加工費等の変動費減少も、一方では棚卸資産の減少による影響や一時的な固定費増加



1. 25年3月期第2四半期(中間期) 連結業績ハイライト

TOKYOink

(単位：百万円)

前年同中間期比 増減要因

- ✓ 政策保有株式の縮減を進めたことにより、特別利益は増加するも、米国連結子会社の出資金運用損計上による営業外費用増加、外貨建資産における為替評価益等の営業外収益減少により、**経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は減益**

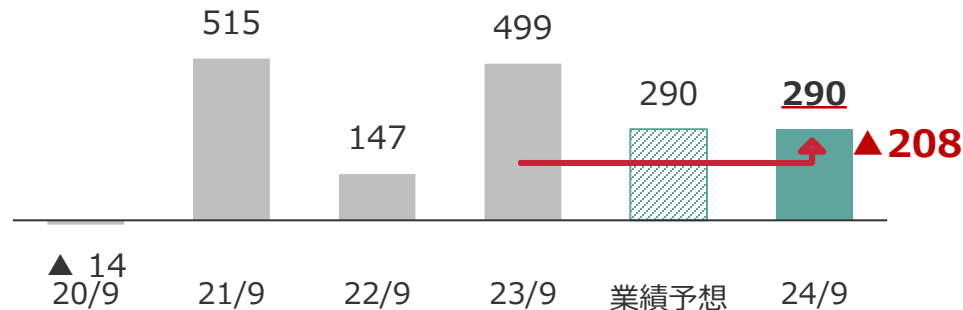
経常利益

290百万円

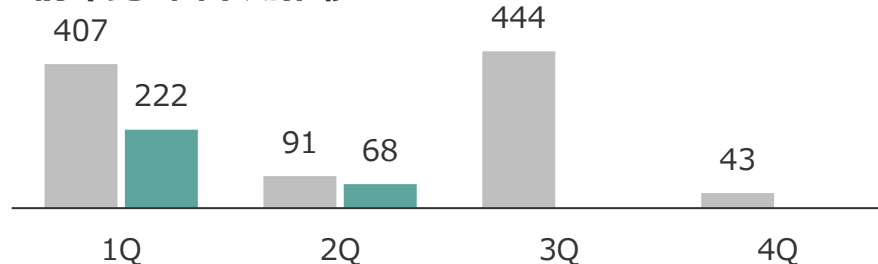
前年同中間期比 **▲208**百万円 (▲41.8%)

2Q(中間期)業績予想比 **+0**百万円 (+0.2%)
(※)

●経常利益 5年推移



●前年比 四半期推移



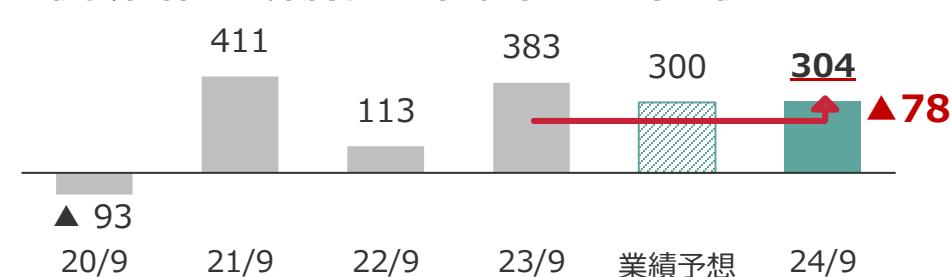
親会社株主に帰属する 中間純利益

304百万円

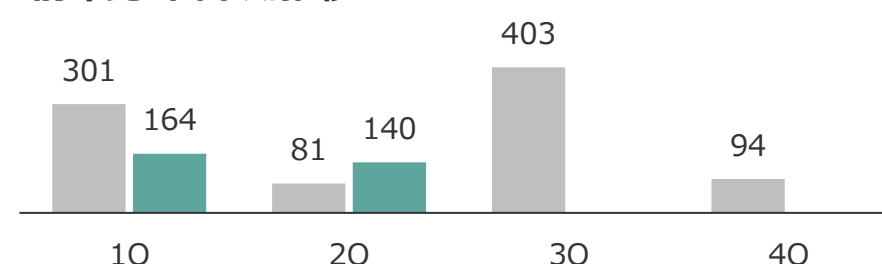
前年同中間期比 **▲78**百万円 (▲20.4%)

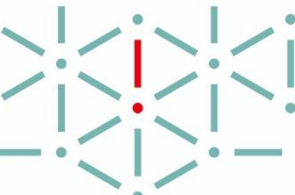
2Q(中間期)業績予想比 **+4**百万円 (+1.6%)
(※)

●親会社株主に帰属する中間純利益 5年推移



●前年比 四半期推移





2. 25年3月期第2四半期(中間期) 第2四半期連結業績予想と実績との差異(24年5月14日公表値比)

(単位：百万円)

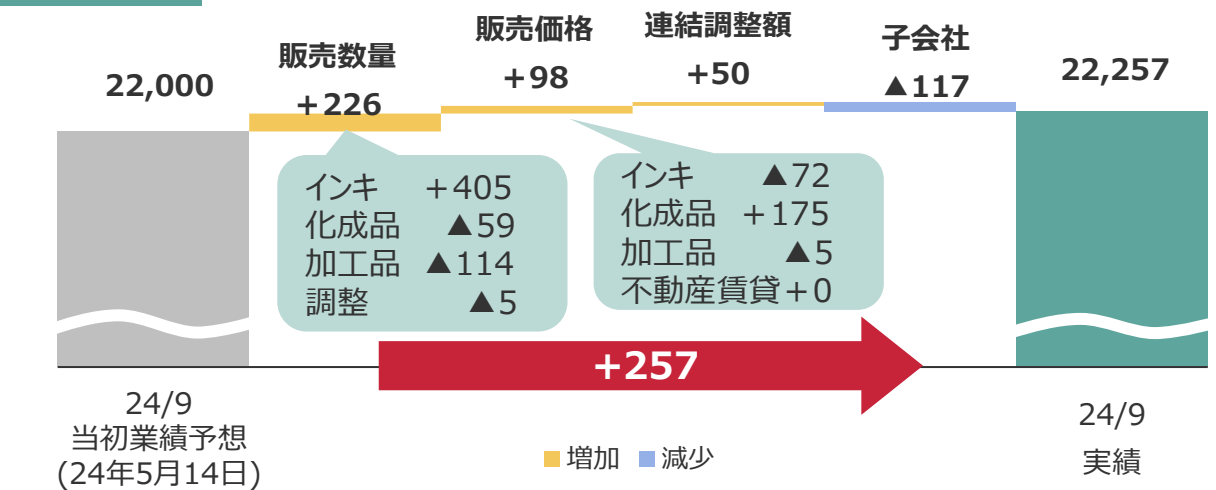
●当初（24年5月14日）公表値との差異

	【当初】 24年5月14日 公表値 (A)	【修正】 24年10月25日 公表値 (B)	【実績】 25年3月期 2Q(中間期) (C)	差額 (C)-(A)
売上高	22,000	22,200	22,257	+ 257
営業利益	350	260	267	▲82
経常利益	280	290	290	+ 10
親会社株主に帰属する 中間純利益	200	300	304	+ 104

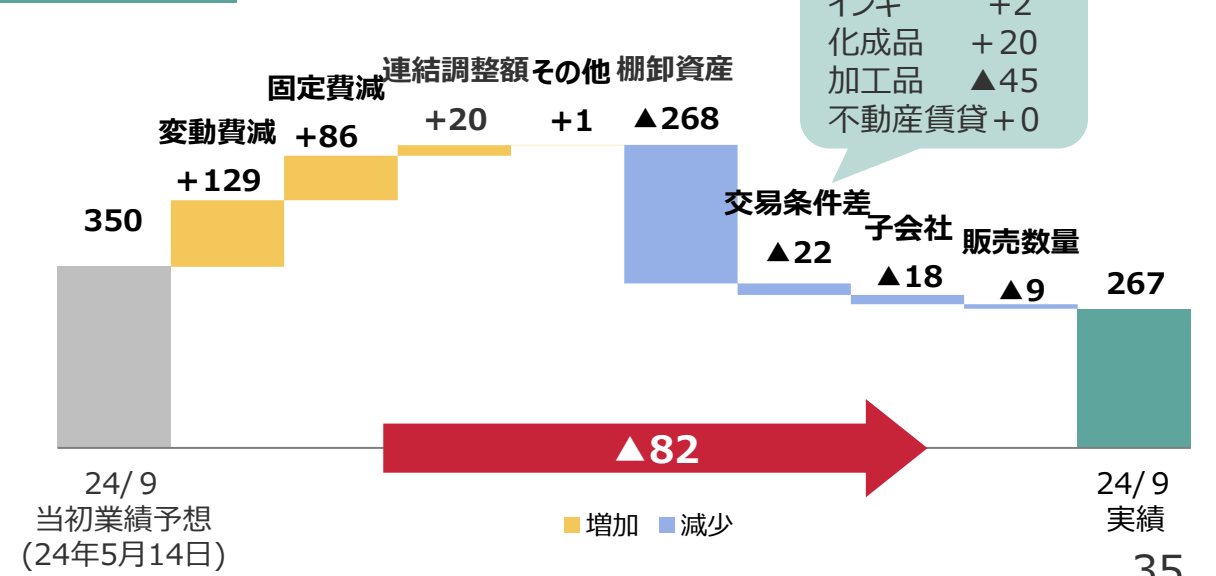
●差異要因

売上高	加工品事業のネトロン工材・包材において、原材料メーカーのプラント事故の影響で材料供給が不安定になったことによる販売数量の減少はあるものの、インキ事業における重要顧客への販売活動強化による販売数量の増加により、当初公表値を上回る結果
営業利益	加工品事業のネトロン工材・包材における減収要因や、同製品の生産体制再構築の影響による棚卸資産の減少等で当初公表値を下回る結果
親会社株主に帰属する 中間純利益	政策保有株式の縮減を進めたことによる投資有価証券売却益の計上により当初公表値を上回る結果

●売上高



●営業利益

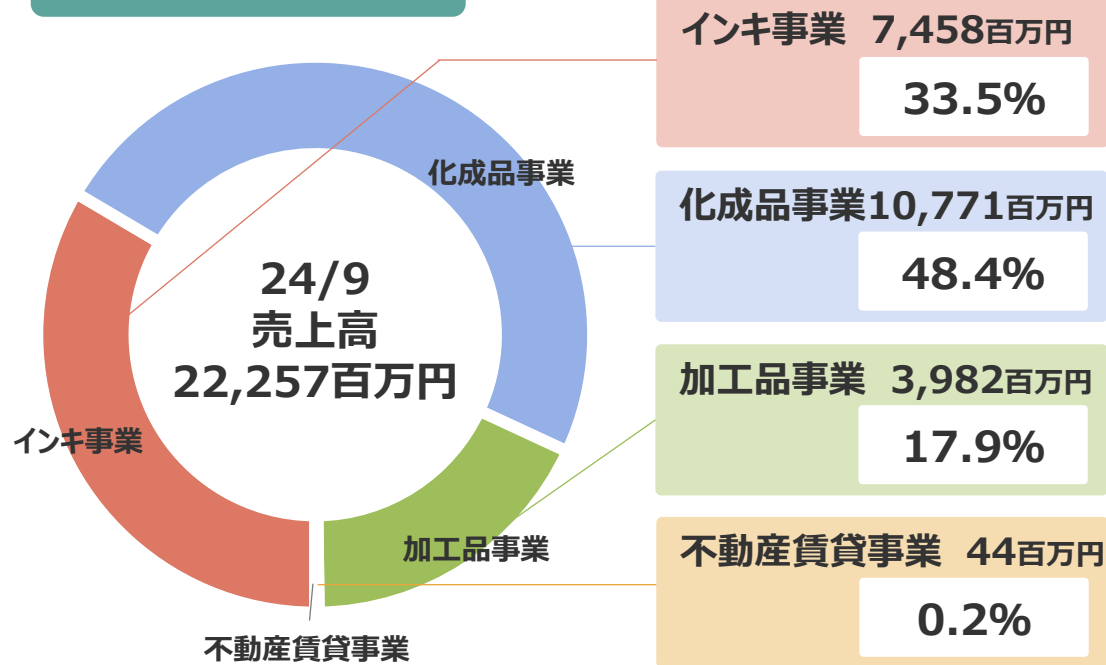


3. 25年3月期第2四半期(中間期) セグメント別業績サマリー

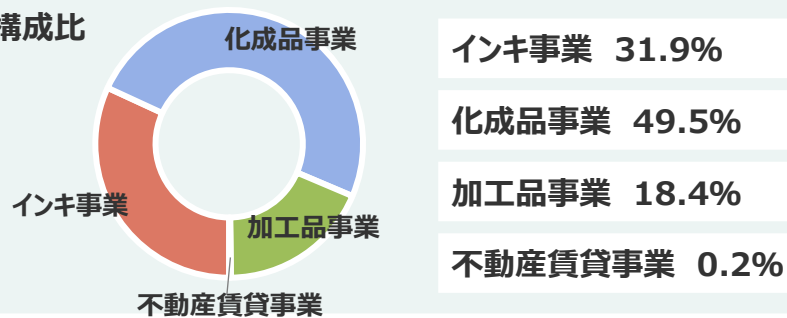
TOKYOink

(単位：百万円)

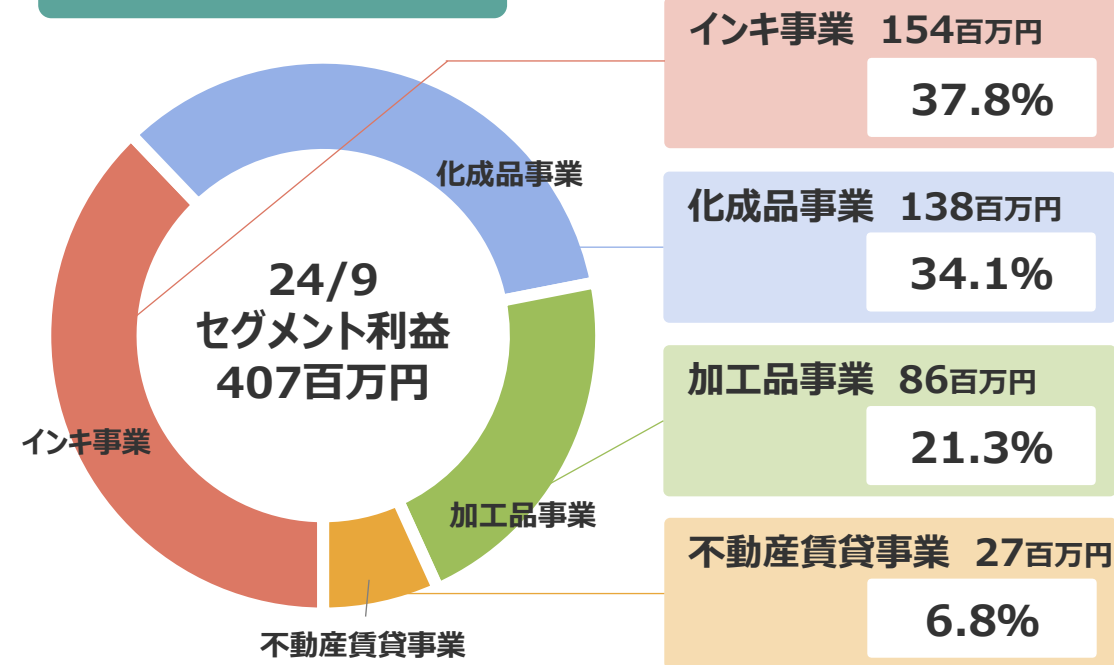
売上高 構成比



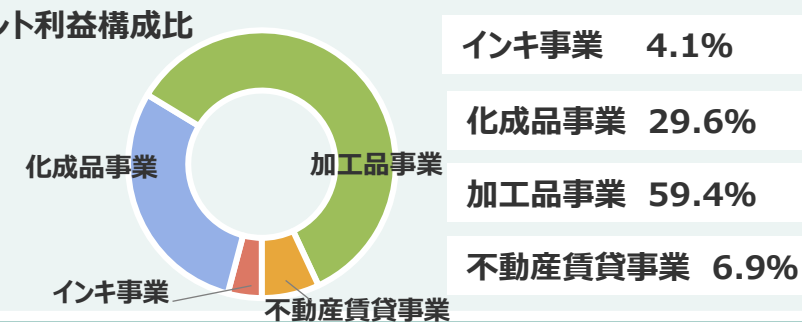
【参考】23/9売上高構成比



セグメント利益 構成比



【参考】23/9セグメント利益構成比



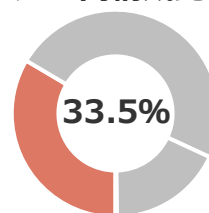
3. 25年3月期第2四半期(中間期) インキ事業

TOKYOink

(単位：百万円)

売上高 **7,458**百万円 **+678**百万円 (+10.0%)
セグメント利益 **154**百万円 **+137**百万円 (+831.4%)

売上高構成比



業績影響

■ オフセットインキ

重要顧客への販売強化



製品販売価格改定（前年度実施）



■ グラビアインキ

投資に伴う減価償却費増



機能性製品需要



■ インクジェットインク

自社製品

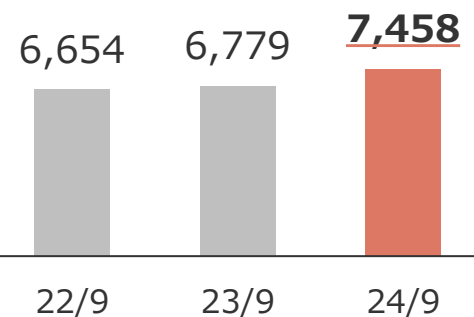


受託製品
海外向け需要

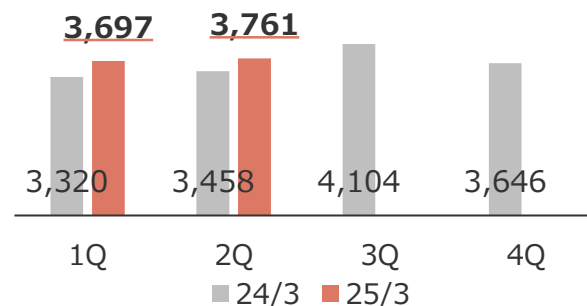


売上高

■ 3年推移

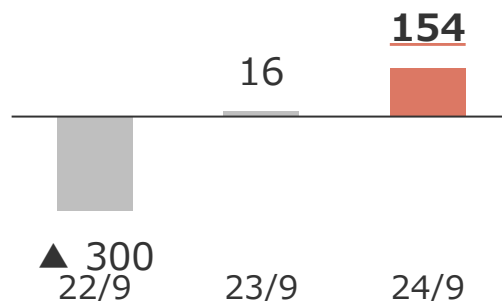


■ 前年比 四半期推移

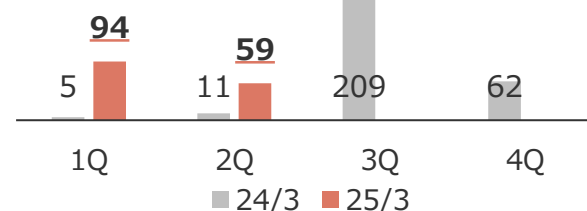


セグメント利益

■ 3年推移



■ 前年比 四半期推移



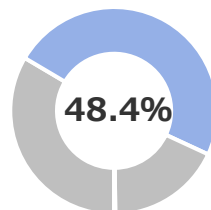
3. 25年3月期第2四半期(中間期) 化成品事業

TOKYOink

(単位：百万円)

売上高 **10,771** 百万円 **+243** 百万円 (**+2.3%**)
セグメント利益 **138** 百万円 **+19** 百万円 (**+16.7%**)

売上高構成比



業績影響

■ マスターバッチ・樹脂コンパウンド

自社製品

フィルム・容器用途向け製品需要



自動車用途向け製品需要



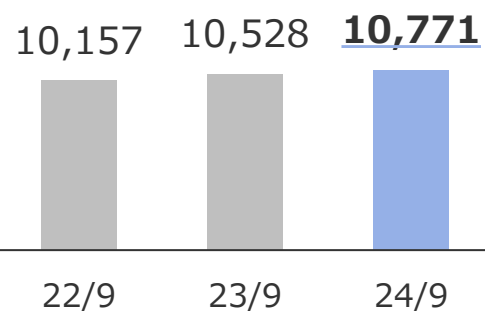
受託製品

顧客における在庫調整影響

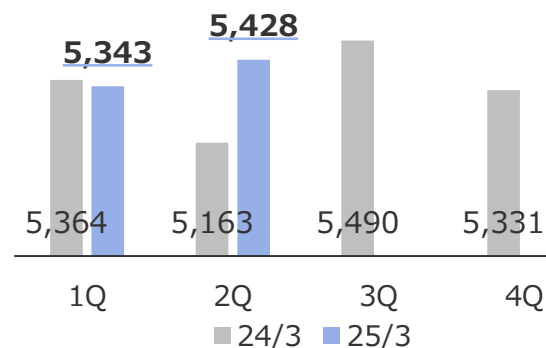


売上高

■ 3年推移

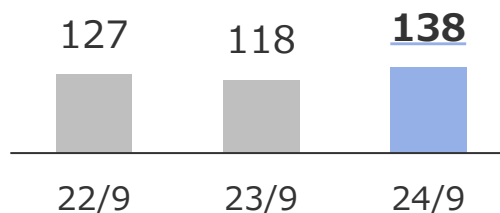


■ 前年比 四半期推移

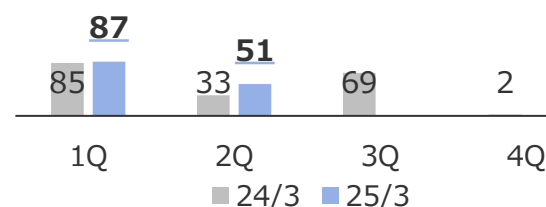


セグメント利益

■ 3年推移



■ 前年比 四半期推移



3. 25年3月期第2四半期(中間期) 加工品事業

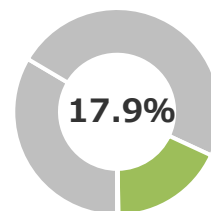
TOKYOink

(単位：百万円)

売上高 **3,982**百万円 **+67**百万円 (**+1.7%**)
セグメント利益 **86**百万円 **▲151**百万円 (**▲63.7%**)

前年同中間期比

売上高構成比



業績影響

■ ネットロン工材・包材

原材料供給不安定（プラント事故）

生産体制再構築に伴う経費増

■ 一軸延伸フィルム

産業用途フィルム需要

一部製品の採算性低下

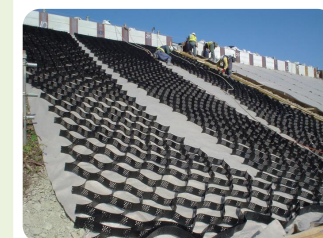
■ 土木資材

防災・減災用途（ジオセル工法）需要

一般土木製品需要

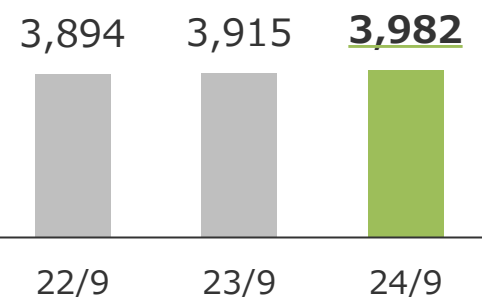
■ 農業資材

高機能製品（保温資材等）需要

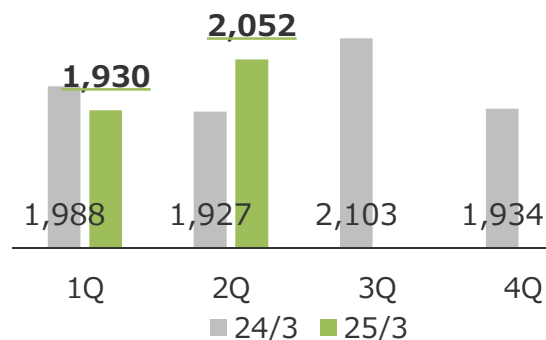


売上高

■ 3年推移

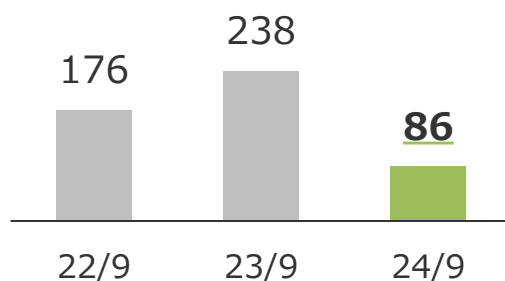


■ 前年比 四半期推移

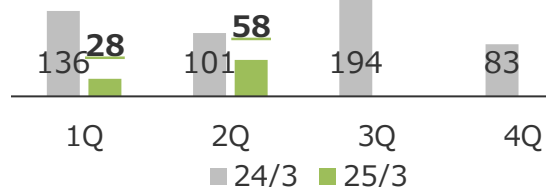


セグメント利益

■ 3年推移



■ 前年比 四半期推移



3. 25年3月期第2四半期(中間期) 不動産賃貸事業

TOKYOink

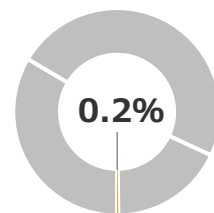
(単位：百万円)

売上高
セグメント利益

44百万円
27百万円

前年同中間期比
+0百万円 (+0.6%)
▲0百万円 (▲1.2%)

売上高構成比



業績影響

貸戸建て住宅「パレットパークタウン」

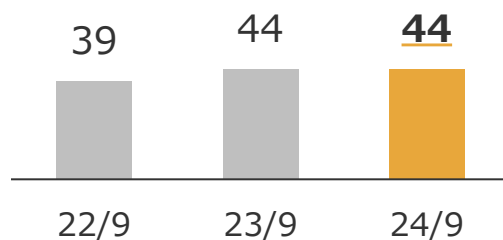


本社ビル賃貸オフィス

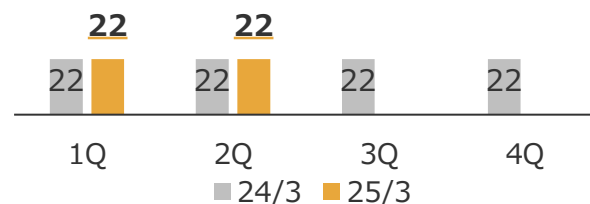


売上高

■ 3年推移

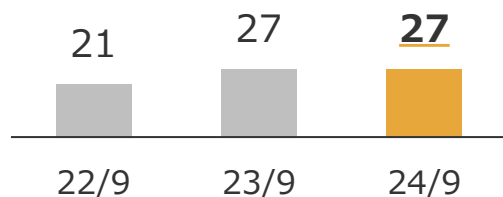


■ 前年比 四半期推移

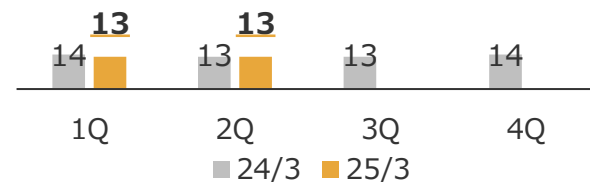


セグメント利益

■ 3年推移

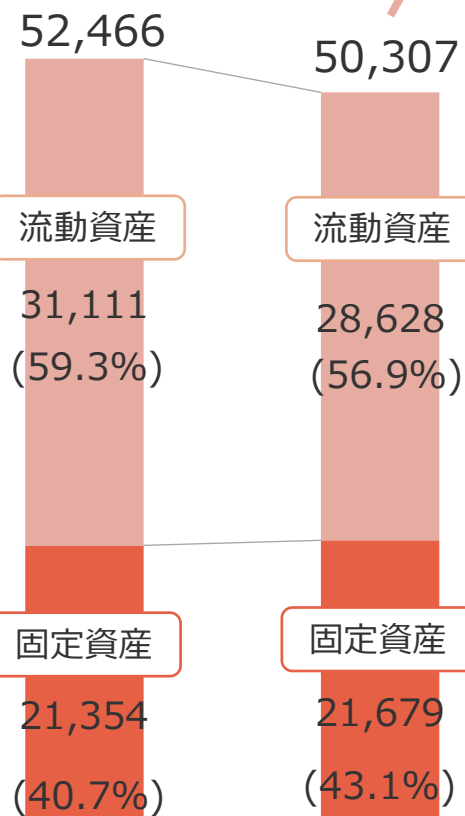


■ 前年比 四半期推移

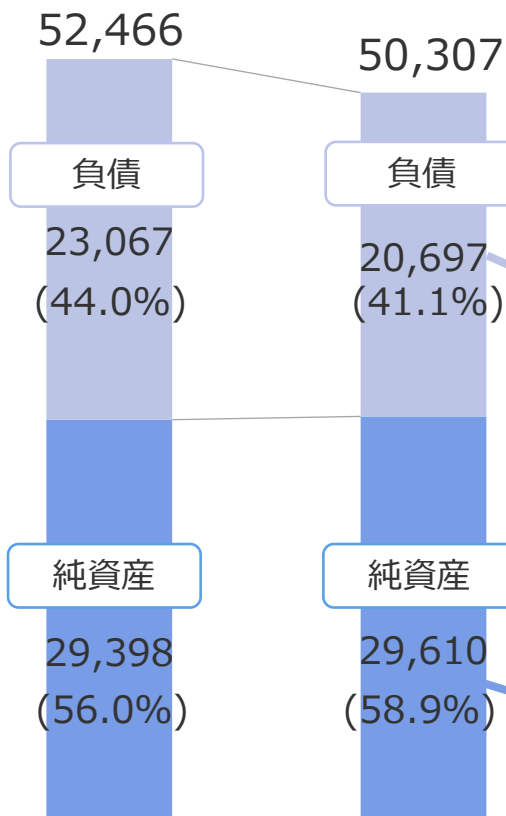


✓ 連結貸借対照表

●資産の部



●負債・純資産の部



資産

前期末比▲2,158百万円 (▲4.1%)

●流動資産

- ・資産効率化による手持現預金等の見直し
- ・前期末が月末休日の影響による売上債権減少
- ・棚卸資産の減少

●固定資産

- ・設備投資による有形固定資産の増加

負債

前期末比▲2,370百万円 (▲10.3%)

●流動負債

- ・前期末が月末休日の影響による仕入債務減少

●固定負債

- ・長期借入金約定返済による減少

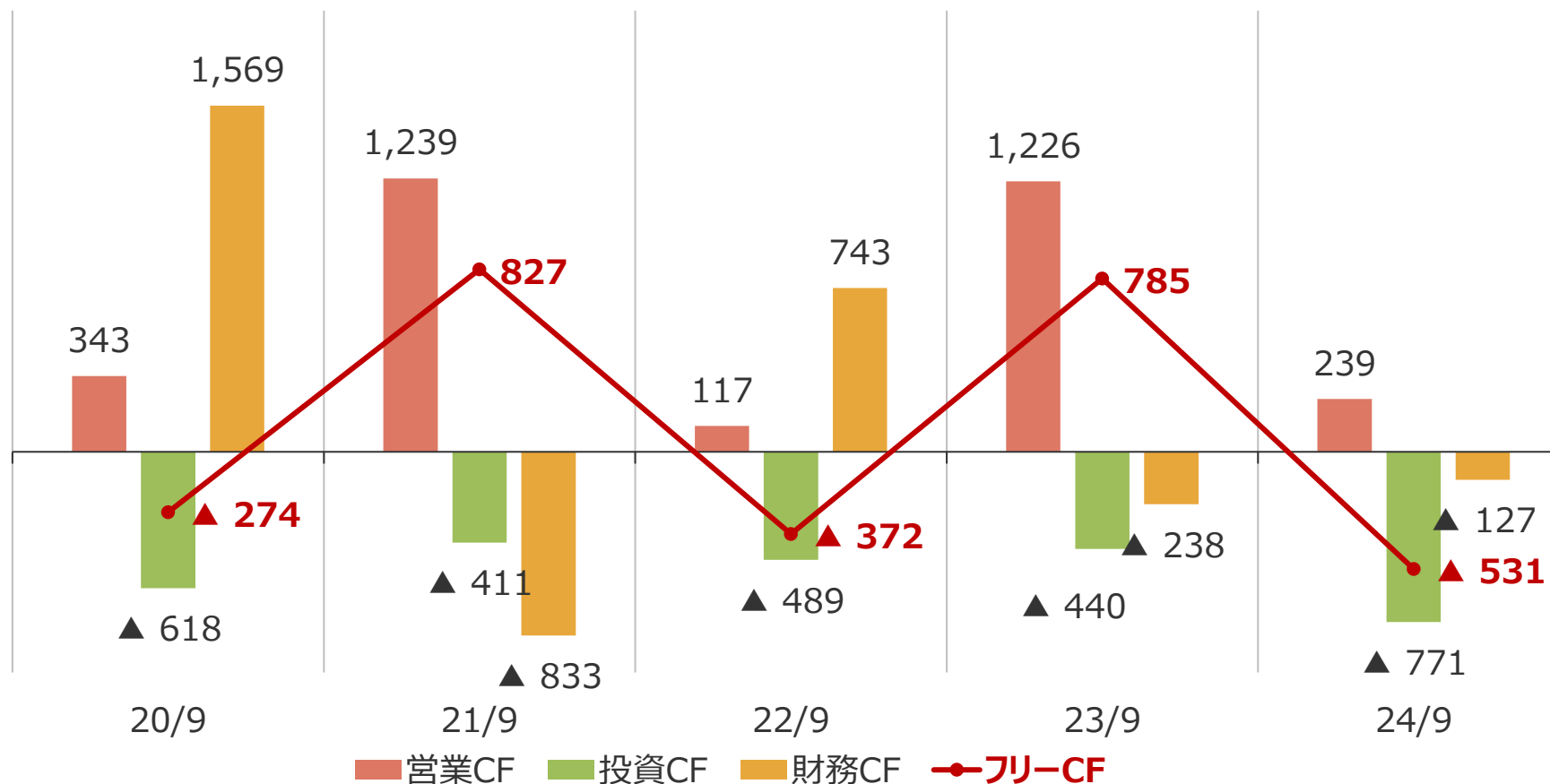
純資産

前期末比+211百万円 (+0.7%)

- ・円安による為替換算調整勘定増加

✓ 連結キャッシュ・フロー

- 前年度は、十分な利益を確保出来た事により営業CF 大幅なプラス、結果、フリーCFプラス
- 当年度は、月末休日の影響や設備投資額の増加により、フリーCFはマイナス

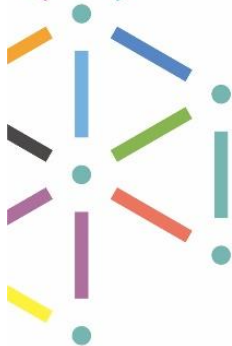




TOKYOink

東京インキ株式会社

- 本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めて頂くための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。
 - 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。
投資に関する決定は、ご自身のご判断と責任において行われるようお願いいたします。



【お問合せ先】 東京インキホームページお問い合わせフォーム
<https://www.tokyoink.co.jp/contact/>



東京インキ株式会社
TEL : 03-5902-7652
E-mail : tic-ir@tokyoink.co.jp

これからも、彩る世界をあなたと共に

